

# 4 死因分析

## (1) 死因別死亡確率

人はいずれ何らかの死因で死亡することになるが、生命表上で、ある年齢の者が将来どの死因で死亡するかを計算し、確率の形で表したものが死因別死亡確率である。

令和5年の死因別死亡確率を主要死因についてみると、0歳では男は悪性新生物<腫瘍>が最も高く、次いで心疾患（高血圧性を除く。以下同じ。）、老衰、脳血管疾患、肺炎の順、女は老衰が最も高く、次いで悪性新生物<腫瘍>、心疾患、脳血管疾患、肺炎の順になっている。65歳では男女とも0歳に比べ悪性新生物<腫瘍>の死亡確率は低く、老衰の死亡確率は高くなっており、75歳及び90歳ではこの死亡確率の差がさらに広がっている。また、心疾患、脳血管疾患及び肺炎で、その死亡確率を0歳、65歳、75歳及び90歳の年齢間で比べると、ほぼ同程度となっている。

前年と比較すると、悪性新生物<腫瘍>、心疾患及び脳血管疾患の死亡確率は、0歳、65歳、75歳及び90歳のすべての年齢で男女とも低下している。また、老衰の死亡確率は、男女ともすべての年齢で上昇している。

「悪性新生物<腫瘍>、心疾患及び脳血管疾患」の死亡確率は、男女とも0歳、65歳、75歳及び90歳のすべての年齢で5割を下回っており、前年と比較するとすべての年齢で男女とも低下している。（図5、表6）

図5 死因別死亡確率（主要死因）（令和5年）

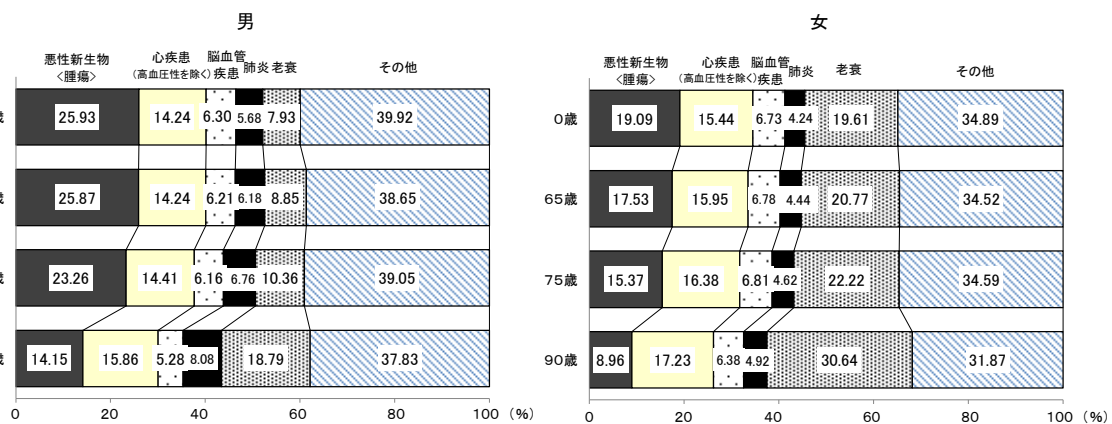


表6 死因別死亡確率（主要死因）の推移

主要死因	年齢	男					女				
		令和元年	2年	3年	4年	5年	令和元年	2年	3年	4年	5年
悪性新生物<腫瘍>	0歳	28.20	28.33	27.66	26.30	25.93	19.95	20.18	19.86	19.34	19.09
	65	27.97	28.22	27.55	26.16	25.87	18.26	18.58	18.28	17.72	17.53
	75	25.04	25.39	24.76	23.49	23.26	16.10	16.40	16.12	15.50	15.37
	90	15.58	16.02	15.43	14.43	14.15	9.69	9.87	9.68	9.02	8.96
	0歳	14.22	14.41	14.38	14.28	14.24	16.71	16.45	16.20	15.79	15.44
心疾患(高血圧性を除く)	65	14.29	14.47	14.43	14.31	14.24	17.27	17.02	16.75	16.32	15.95
	75	14.54	14.75	14.71	14.50	14.41	17.74	17.48	17.22	16.76	16.38
	90	16.19	16.45	16.63	15.94	15.86	18.60	18.41	18.19	17.61	17.23
	0歳	7.20	7.00	6.86	6.55	6.30	8.06	7.79	7.46	6.97	6.73
	65	7.19	6.99	6.84	6.48	6.21	8.17	7.87	7.55	7.05	6.78
脳血管疾患	75	7.27	7.03	6.87	6.46	6.16	8.29	7.97	7.64	7.11	6.81
	90	6.63	6.36	6.12	5.67	5.28	7.95	7.64	7.31	6.70	6.38
	0歳	8.43	7.07	6.25	5.64	5.68	6.68	5.33	4.56	4.14	4.24
	65	9.18	7.68	6.81	6.13	6.18	7.00	5.58	4.78	4.34	4.44
	75	10.14	8.44	7.48	6.73	6.76	7.31	5.82	4.98	4.52	4.62
90	12.64	10.31	9.12	8.09	8.08	8.10	6.33	5.32	4.86	4.92	
老衰	0歳	6.35	7.15	7.41	7.45	7.93	16.44	18.05	18.80	18.68	19.61
	65	7.08	7.97	8.25	8.31	8.85	17.40	19.08	19.88	19.79	20.77
	75	8.28	9.31	9.63	9.73	10.36	18.59	20.37	21.23	21.18	22.22
	90	15.61	17.09	17.61	17.91	18.79	26.11	28.23	29.34	29.51	30.64
	悪性新生物<腫瘍>、心疾患(高血圧性を除く)及び脳血管疾患(再掲)	0歳	49.62	49.75	48.90	47.12	46.47	44.72	44.42	43.52	42.10
65	49.45	49.68	48.82	46.95	46.32	43.70	43.48	42.59	41.08	40.27	
75	46.86	47.16	46.34	44.45	43.83	42.12	41.85	40.98	39.37	38.56	
90	38.41	38.83	38.19	36.04	35.29	36.24	35.92	35.18	33.33	32.57	

注：令和2年は完全生命表による。

(2) 特定死因を除去した場合の平均余命の伸び

ある死因で死亡することがなくなったとすると、その死因によって死亡していた者は、その死亡年齢以後に他の死因で死亡することになる。その結果、死亡時期が繰り越され、平均余命が延びることになる。この伸びは、その死因のために失われた平均余命としてみることができ、これによって各死因がどの程度平均余命に影響しているかを測ることができる。また、老衰を他の死因と同様にとらえ、老衰についてもどの程度平均余命に影響しているかを測ることにする。

令和5年の特定死因を除去した場合の平均余命の伸びを主要死因についてみると、0歳では、男女とも悪性新生物<腫瘍>が最も大きく、次いで男は、心疾患、脳血管疾患の順に、女は心疾患、老衰の順になっている。90歳においては男女とも老衰が最も大きく、次いで心疾患、悪性新生物<腫瘍>の順になっている。

前年と比較すると、悪性新生物<腫瘍>、心疾患及び脳血管疾患について、当該死因を除去した場合の平均余命の伸びは、0歳、65歳、75歳及び90歳のすべての年齢で男女ともおおむね短くなっている。また、肺炎及び老衰について、当該死因を除去した場合の平均余命の伸びは、すべての年齢で男女ともおおむね長くなっている。

「悪性新生物<腫瘍>、心疾患及び脳血管疾患」を除去した場合の伸びは、0歳では男6.06年、女4.96年となっている。65歳では男4.93年、女3.93年、75歳では男3.67年、女3.15年、90歳では男1.47年、女1.51年となっている。(表7)

表7 特定死因を除去した場合の平均余命の伸び(主要死因)の推移

(単位:年)

除去する主要死因	年齢	男					女				
		令和元年	2年	3年	4年	5年	令和元年	2年	3年	4年	5年
悪性新生物<腫瘍>	0歳	3.54	3.55	3.43	3.19	3.16	2.84	2.87	2.81	2.74	2.69
	65	2.89	2.93	2.83	2.62	2.61	1.96	2.02	1.97	1.89	1.87
	75	1.98	2.03	1.95	1.80	1.80	1.36	1.41	1.37	1.29	1.28
	90	0.59	0.62	0.57	0.50	0.50	0.41	0.44	0.42	0.37	0.37
心疾患 (高血圧性を除く)	0歳	1.41	1.44	1.42	1.41	1.42	1.28	1.26	1.23	1.19	1.17
	65	1.10	1.12	1.10	1.09	1.09	1.20	1.20	1.16	1.11	1.09
	75	0.91	0.93	0.92	0.89	0.89	1.13	1.13	1.09	1.04	1.02
	90	0.59	0.61	0.60	0.54	0.55	0.78	0.80	0.77	0.71	0.69
脳血管疾患	0歳	0.72	0.71	0.69	0.66	0.65	0.67	0.66	0.62	0.58	0.57
	65	0.55	0.55	0.53	0.50	0.49	0.58	0.57	0.54	0.50	0.49
	75	0.46	0.45	0.44	0.40	0.39	0.52	0.51	0.48	0.45	0.43
	90	0.23	0.22	0.21	0.18	0.17	0.31	0.31	0.29	0.25	0.24
肺炎	0歳	0.58	0.49	0.43	0.38	0.39	0.42	0.34	0.29	0.26	0.27
	65	0.58	0.49	0.43	0.38	0.39	0.42	0.34	0.29	0.26	0.27
	75	0.58	0.48	0.42	0.37	0.38	0.41	0.33	0.29	0.25	0.26
	90	0.44	0.36	0.31	0.26	0.26	0.31	0.25	0.20	0.18	0.18
老衰	0歳	0.30	0.36	0.36	0.36	0.39	0.88	1.01	1.08	1.04	1.11
	65	0.33	0.40	0.40	0.40	0.44	0.93	1.06	1.14	1.10	1.18
	75	0.38	0.45	0.46	0.45	0.50	0.99	1.13	1.21	1.17	1.25
	90	0.55	0.65	0.64	0.61	0.66	1.17	1.33	1.44	1.35	1.43
悪性新生物<腫瘍>、 心疾患(高血圧性を除く) 及び脳血管疾患	0歳	6.65	6.69	6.49	6.11	6.06	5.45	5.46	5.28	5.07	4.96
	65	5.43	5.50	5.32	4.97	4.93	4.34	4.39	4.24	4.01	3.93
	75	4.07	4.15	4.01	3.70	3.67	3.55	3.58	3.44	3.22	3.15
	90	1.72	1.79	1.70	1.48	1.47	1.79	1.84	1.75	1.55	1.51

注: 1) 令和2年は完全生命表による。

2) 「悪性新生物<腫瘍>、心疾患(高血圧性を除く。以下同じ。)及び脳血管疾患」の数値は、以下の理由により「悪性新生物<腫瘍>」、「心疾患」及び「脳血管疾患」のそれぞれを合計した数値にはならない。

○「悪性新生物<腫瘍>、心疾患及び脳血管疾患」の数値: 3つの死因を同時に除去していることから、3つのどの死因による死亡も発生しないものとして伸びが計算される。

○「悪性新生物<腫瘍>」「心疾患」「脳血管疾患」それぞれの数値: 単独に死因を除去し、他の2つの死因を除去していないことから、当該2つの死因による死亡が発生するものとして伸びが計算される。